講　評

総　評

社会と理科が難しく、総合も難しめの出題で，全体の平均点も伸びませんでした。

入試本番まで残りわずかとなりましたが、ここからはあまり手を広げず、重要事項の定着をはかりましょう。

今回のようなテストにしろ、問題集にしろ、できなかったところや、知識があやふやなところは、そのままにせず、見直しや解き直しを行うことが大切です。ミスや間違いはチャンスと考え、実力をのばすきっかけにしてください。

第１回の試験でも書きましたが、入試では「満点をねらう」のではなく、「解ける問題を確実に得点する」ことがポイントです。志望校の出題傾向やレベルをつかみ、弱点の補強や重要事項の確認などの準備をしっかりと行って下さい。

国　語

やや易しい出題でした。

一は、問一(4)の得点率がやや低くなりました。中学入試では、日常会話の中であまり登場しないような語句の読み書きも出題されるため、日ごろからさまざまな文章にふれ、多くの言葉を知り、その意味や使い方を身につけていくことが重要です。二は、問六の得点率がやや低くなりました。問題文で問われていることをとらえるのが難しかったためだと考えられます。三は、問四と問六の得点率が低くなりました。特に、問六は、白紙の解答が半分近くありました。残り時間が少なかったとは思いますが、解答の手がかりとなる部分が――線部の近くにあったため、その内容をもとに、少しでも解答を書くことができれば、部分点を得られた可能性があります。ねばり強く解答を試みる姿勢を大切にしましょう。

算　数

標準的な難易度の出題でした。前半はよく得点できていますが、後半の4～6は得点率が低くなりました。

1の(2)、分数の計算でも、計算の順序は整数の場合と同じです。2は基本問題です。できなかった問いは必ず復習しましょう。3のようなグラフを使った問題は入試でよく出題されます。求めたい値(あたい)から逆算して、何を求めればよいのか考えるようにしましょう。

4はどちらも見慣れない問題だったかもしれません。解説を読んで考え方を理解し、もう一度挑戦してみましょう。5の(2)は、「値引(ねび)きせずに売った場合の利益」を考えるところがポイントでした。

算数で重要なのは、問題の見方や考え方です。解けなかった問題を復習する際は、解説をよく確認し、「考え方」を理解するように心がけましょう。

社　会

難しい出題でした。

1は(4)はよくできていましたが、(2)B、(3)のグラフの判別問題は得点率が低くなりました。2は(4)の得点率が低くなりました。産業の変化を書く問題ですが、輸出品の増減を書いただけの答案が目立ちました。3は(6)の得点率が低くなりました。記号はできているけれど、閣議を「国会」と書いてしまった答案が多く見られました。4は基本的な問題はよくできていました。(2)は「律令」が書けない人が多くいましたが、教科書に出ている内容ですので、間違えた人は復習しましょう。5は(3)③の得点率が非常に低くなしました。地租改正の目的を、税の納め方の改正点に関連づけて書く問題ですが、目的しか書いていない答案が多く見られました。記述問題は、問題の指示に従って書くようにしましょう。

理　科

難しい出題でした。

1は食物連さに関する問題でした。(1)と(2)はよくできていましたが、(4)は難しかったようです。2は水よう液の性質に関する問題でした。実験結果を読み取り、思考できたかがポイントでした。3は植物のはたらきに関する問題で、(3)と(5)の得点率が低くなりました。(3)の②は呼吸で放出した二酸化炭素の割合も考える必要があり、難しい出題となりました。4は電気回路の問題で、全体に苦戦した人が多かったようです。どの問題も基本的な内容ですので、もう一度よく復習してください。5は地層や月の問題で、(2)の得点率が低くなりました。6はてこの実験に関する問題でした。(1)は棒Xがつりあうことから順に考えていければ、解答にたどり着けたはずです。

総合（適性）

やや難しい出題でした。前半の大問に時間がかかったためか、後半の3や4の得点が予想よりものびませんでした。最初に全体の分量を見きわめ、時間配分を考えながら取り組みましょう。

1の推理、3の規則性の問題は、中学入試でよく出題される重要事項ですのでしっかり復習しましょう。2の(4)①では、どのような費用が減少するのかを示していない解答が目立ちました。単に費用が減少すると述べるだけでなく、その内容にふみこんで説明できるかがポイントでした。4(2)は、札幌開成中でも出題される形式の文章記述問題です。指定されたすべての条件を満たし、だれにでも伝わるように表現する力を身につけましょう。文章記述問題では、書いた文章を必ず読み直し、誤字や文法的な誤りがないか確認する習慣をつけましょう。